

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公開番号】特開2003-255900(P2003-255900A)

【公開日】平成15年9月10日(2003.9.10)

【出願番号】特願2002-52143(P2002-52143)

【国際特許分類第7版】

G 09 G 3/30

G 09 G 3/20

H 05 B 33/14

【F I】

G 09 G 3/30 K

G 09 G 3/20 6 1 2 E

G 09 G 3/20 6 2 3 F

G 09 G 3/20 6 2 4 A

G 09 G 3/20 6 3 1 V

G 09 G 3/20 6 4 1 D

G 09 G 3/20 6 4 1 Q

G 09 G 3/20 6 4 2 L

H 05 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月21日(2005.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

陽極と陰極との間に発光層を有するEL素子と、該EL素子を駆動する薄膜トランジスタとを備えたアクティブ型のカラーEL表示装置において、前記発光層にRGB毎に異なる発光材料を使用し、RGB毎の前記発光層にそれぞれの輝度特性に合わせたRGB別ガンマ補正回路を設けてRGBの色バランスを揃えることを特徴とするカラー有機EL表示装置。

【請求項2】

前記ガンマ補正回路はDACで構成され、前記DACの基準電圧をRGB毎に調整することを特徴とする請求項1に記載のカラー有機EL表示装置。

【請求項3】

陽極と陰極との間に発光層を有するEL素子と、該EL素子を駆動する薄膜トランジスタとを備えたアクティブ型のカラーEL表示装置において、前記発光層にRGB毎に異なる発光材料を使用し、RGB毎の前記発光層にそれぞれの輝度特性に合わせたRGB別ガンマ補正回路を設け、表示時間の積算に対応するRGB毎の前記発光層の輝度特性の出力補正データを予めメモリに設定し、前記出力補正データにより前記RGB別ガンマ補正回路を調整してRGBの色バランスを揃えることを特徴とするカラー有機EL表示装置。

【請求項4】

前記ガンマ補正回路はDACで構成され、前記DACの基準電圧をRGB毎に前記出力補正データで調整することを特徴とする請求項3に記載のカラー有機EL表示装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

【課題を解決するための手段】

本発明は上記課題を解決するためになされたものであり、本発明では発光層にRGB毎に異なる発光材料を使用し、RGB毎の前記発光層にそれぞれの輝度特性に合わせたRB別ガンマ補正回路を設けてRGBの色バランスを揃えることを特徴とする。これによりRGBの発光材料別の輝度特性に合わせたガンマ補正回路により色バランスの良いカラーホーリーEL表示装置を実現できる。